

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	3	学校名	仙台市立立町小学校	校長名	川村 美智
------	---	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

「自然との共生を大切にする児童の育成」



2 取組の紹介

杜の都の中心部に位置し、自然環境に恵まれている立町小学区の特徴を生かして、学習をしています。

(1) 朝のJRC活動

5月から11月の木曜日に、福祉委員が中心となり、全校児童でのゴミ拾いや、落ち葉集めを行いました。4年生から6年生は学校周りで活動しながら、地域の方々へ元気に挨拶をする姿が見られました。また、一円募金や使用済み切手集めも毎週金曜日に行いました。



(2) 5年生の広瀬川学習

毎年5年生が総合的な学習の時間を活用し、学校のそばを流れる広瀬川について調べたり、学びを深めたりしています。生き物が棲みやすい環境について、考えを深めました。



(3) 花壇の緑化

保健緑化委員会が中心となって、校内の花壇に花の苗を植えました。また、各学年が生活科や理科の学習と関連付けながら多種多様な植物を育てました。特に4年生は理科で育てたヘチマをたわしにして持ち帰り、生活に身近なものとして関わることができました。

(4) 1・2年 青葉の森の体験（生活科）

6月と11月に、学区内の身近な自然である青葉の森へ校外学習に出掛けました。夏と秋の森の様子の違いを比べながら森の中の散策を楽しみ、動植物や自然の恵みについて、レンジャー（自然解説員）から指導を受けました。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

街中に位置しながらも、比較的広い校庭や、身近に自然を感じられる環境に恵まれた本校の利点を生かし、自然に親しんだり、自然や生き物を大切にしようとする心を育んだりすることができました。ここに紹介したほかにも、クラブ活動で広瀬川に行って水生生物を観察したり、学校全体でごみの分別をしたりするなど、環境問題について身近に感じ考える機会を積極的に設け、自分事として考える児童を増やせるようにしています。

来年度も自然との共生を大切にする立町っ子を育てていきたいと思ひます。